

電話番号

電話番号のデータは、ITU-T E.123 : Notation for national and international telephone numbers, e-mail addresses and web addresses 及び IETF RFC3966 The tel URI for Telephone Numbers 並びに国内の普及状況を考慮して整理する。

1 電話番号

電話番号のデータは以下の形式とする。半角数字で記述し、セパレータには半角ハイフン「-」を利用する。

国際電話用に表現する場合には、「+」の後に国番号、半角スペース後に国内番号の先頭の 0 を除いた番号とする。国番号は ITU-T E.164 に従う。

市内局番を () で表現することがあるが、E.123 において、() は「場合によって使用しない。」ことを意味する記号であるため、市外局番に対して適用する。

国内 (09)9999-9999 、 (099)999-9999 、 099999-9999 、
または (09999)9-9999
フリーダイヤルの場合 0120-999999

国際 +国番号 (9)9999-9999 (国内番号が 2 桁 4 桁 4 桁の場合)

例) +81 (3)5253-5111

代表電話番号を表したい場合、電話番号と同じセル内で、電話番号の後ろに(代表)等の追記を行わない。

データ項目名を「代表電話番号」「連絡先電話番号」として明確化するか、「電話番号」「部署」のように 2 つのデータ項目とする。

例) (03)5353-5111
代表電話

2 内線

電話番号と別データ項目で管理することが望ましい。半角数字のデータとする。

電話番号と同じ 1 つのデータ項目で記述する場合には、国際標準に従い以下のとおりとする。内線と番号の間にスペースは入れない。

国内 (09)9999-9999 内線 999 (内線の桁数は自由)
国際 +国番号(9)9999-9999 Ext. 999 (内線の桁数は自由)
(国内番号が 2 桁 4 桁 4 桁の場合)

3 複数番号の併記

複数番号を併記する場合、半角“スペース/スペース”により区切ることで併記する。

(09)9999-9999 / (09)9999-9998

内線も同様とする。

内線 999 / 998 / . . . / xxx
Ext. 999 / 998 / . . . / xxx

4 解説

4.1 基本方針

ITU-T E.123 : Notation for national and international telephone numbers, e-mail addresses and web addresses 及び IETF RFC3966 The tel URI for Telephone Numbers 並びに国内の普及状況を考慮して決定する。

4.2 セパレータ

以下の理由により電話番号の区切りに半角ハイフンを指定する。

- ・市外局番の桁数に様々な場合があることから、数字の区切りは必要である。
- ・ITU-T E.123 は、番号の視認性を高めるための仕組みとして番号の区切りにスペースを指定している。一方で、IETF RFC3966 は E.123 を認識したうえで、スペースを使うべきではないとしている。スペースは意見が相反しているうえ国内で普及していない。
- ・E.123 は、世界の状況を踏まえ「-」の使用を認めている。また、IETF もセパレータの必要性を認めている。

- ・国内ではハイフンが主流である。

4.3 内線

内線については以下の理由により、データ項目を分離することを推奨する。

- ・国内で内線の書き方は統一されたものがない。
- ・国外でも内線番号記述は統一されていない。
- ・データ処理が容易である。

また、1つのデータ項目に内線を記述する場合、E.123 に従い、国内で内線を番号表す単語“内線”の後ろに内線番号を記述する方式をとる。国際の場合には“Extension”では長いため、Ext. を使うこととする。

5 変更履歴

日付	位置	変更内容
2019年3月28日	-	初版決定
2017年12月22日	-	セパレータをスペースからハイフンに変更
2017年12月22日	P1	フリーダイヤルの追加